



自主

健康

知性



校章のモチーフ
しらね葵

寒河江市立陵西中学校
学校だより
令和7年11月号
文責：校長 井上信宏

南ブロック大会 女子バレー部 第2位! 県新人大会 体操個人総合 第1位!

先日、山形県中学校新人体育大会南ブロック大会と決勝大会が行われ、本校からは男子バレーボール部（河北中・西川中との合同チーム）、女子バレーボール部、野球部（陵南中・陵東中との合同チーム）、体操競技の小野さん、バドミントン競技の庄司さん・山田さんペアが出場しました。その結

果、体操の小野さんが、段違い平行棒、ゆか、平均台で優勝し、個人総合でも1位に輝きました。また、女子バレーボール部が県南ブロック大会で準優勝、野球部が第3位となりました。女子バレーボール部は11月15日（土）に行われる決勝大会に出場します。ぜひ、頑張ってください。

女子バレーボール部（南ブロック大会） 【第2位】

第1試合 対 山辺中 2-0
準決勝 対 山形六中 2-0
決勝 対 クラブ山形 0-2

野球部（南ブロック大会） 【第3位】

第1試合 対 高畠中 5-6で惜敗

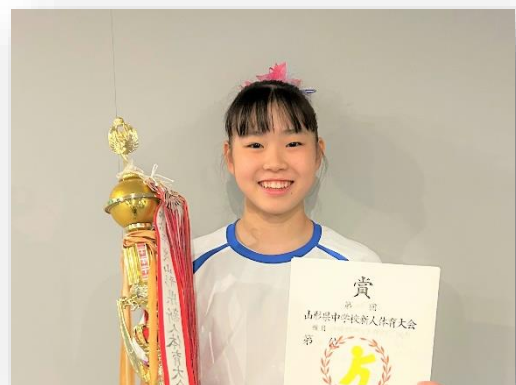
体操競技（県大会） 小野さん

個人総合 【第1位】
ゆか 【第1位】
段違い平行棒 【第1位】
平均台 【第1位】
跳馬 【第3位】

バドミントン競技（県大会）

庄司さん・山田さん

第1試合 対 山形六中 2-0で勝利
第2試合 対 鮭川中 0-2で惜敗



”天歌夢奏” ～ 次のステージへ ～

10月24日（金）に、本校の文化祭「陵西祭」が行われ、平日にも関わらず、多くの保護者や地域の方々が見守る中、盛大に開催することができました。

開祭行事では、高松小学校出身の生徒による「清助新田大黒舞」が披露されました。清助新田大黒舞は清助新田地区に伝わる伝統芸能で、高松小学校では毎年、5年生が総合の時間に学習しています。今年は陵西祭で踊るということで、踊り手を募ったところ、6人の生徒が手を挙げてくれました。また、清助新田大黒舞保存会の方々が毎日のように学校に来ていただき、指導してくださいました。伝統芸能係長の木村さんは「大黒舞保存会の方々や当日優しく見守ってくださった皆さんのおかげで、素晴らしい発表をすることができました。踊り手という形で地域の伝統芸能に関わることができて本当に嬉しかったです。」と、充実した表情で語ってくれました。

また、合唱コンクールや全校合唱では素晴らしい歌声が体育館いっぱいに響きわたるとともに、企画系の「未成年の主張」では、クラスの仲間やお母さんへの感謝の気持ちを全校生の前で発表し、おおいに盛り上がりました。今年の生徒会が目標としている「積極性」「関わり」「思いやり」を具現化したものだったのではないのでしょうか。「文化」とは、新しい物を創り出すこと、より良い物を創り上げようと工夫することだと思っています。今年の陵西祭はまさに「文化の祭典」に相応しいものになりました。ご来校いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



< 伝統芸能発表「清助新田大黒舞」 >



< 企画系の「未成年の主張」 >



1年1組の合唱 「旅立ちの時」



2年1組の合唱 「ヒカリ」



2年2組の合唱 「生きている証」



3年1組の合唱 「青い鳥」

実行委員長のことば

陵西祭実行委員長 菅井さん

今年度の生徒会スローガンは「越（こえる）」です。高めたい力を「積極性」「関わり合い」「思いやり」と決め、全校生が昨日の自分を超え、成長できるように心がけながら学校生活を送っています。陵西祭準備活動を通して、新しいことに挑戦したり、仲間と協力したりすることによって成長できたのではないのでしょうか。

陵西祭のスローガンは「天歌夢奏（てんかむそう） ～次のステージへ～」です。このスローガンには、天に届くような歌声で、夢に見たような歌声を響かせてほしいという思いを込めました。また、昨年度とは違うことに挑戦したいと考え、サブタイトルを「次のステージへ」としました。このスローガンの通り、全員で助け合いながら陵西祭を創り上げることができたと思います。

係活動では、係長を中心として助け合い、励まし合いながら真剣に取り組んできました。全校生での準備活動でも、一人一人が積極的に取り組む姿勢が見られました。クラス合唱では、合唱コンクール係や指揮者、パートリーダーがクラスをまとめ、素晴らしい合唱を創り上げてくれました。一つの合唱を創り上げるまでには、楽しいことばかりではなく、意見のぶつかりがあったと思います。しかし、練習を重ねる中で全員が心をつにして、困難を乗り越えてきました。この陵西祭で仲間の大切さや支え合うことを学べたのではないのでしょうか。



SOSの出し方・受け止め方講話

10月30日(木)に、「SOSの出し方・受け止め方講話」を実施しました。寒河江市では、毎年、全ての学校で「SOSの出し方・受け止め方講話」を実施しており、今年も山形県立保健医療大学の安保寛明先生を講師にお迎えし、「つらいこと」や「嫌なこと」が起こった時にどうすればいいのか、そして、相談された時にどう対応すればいいのか等についてお話をお聞きしました。



安保先生は、「つらい」や「嫌なこと」があった時は一人で抱え込まないで、周りの人(友達や家族、学校の先生など)に相談すること、悩みを相談され時には「私だけでは上手くアドバイスができないから、誰かに応援してもらおう。」と、一緒に悩んでくれるサポーターを見つけることが大切だと話してくださいました。講話を聞いた生徒たちは、次のような感想を述べていました。

SOSの出し方について話を聞き、誰かに悪口を言われたり、ストレスを抱えたりしたときは、自分一人で抱えるのではなく、友達や先生、家族などに助けを求めることが大切だということを知った。また、周りの人に相談しても受けとめてくれない場合は、時間を空けてもう一度相談をすると良いことが分かった(3人に3回相談する)。今は相談するような悩みはないが、友達が悩んでいたら、自分も相談に乗るようにしたいと思った。
(3年 阿部さん)

ストレスは嫌なことというより、「脳の元気度が下がること」ということ、「好きなことをしていてもストレスは生まれる」ということを知りました。また、傷ついてしまった時には一人で解決しようとせず、友達や家族に相談をし、それでもダメだった場合は、SOSの電話をかけたりするなどして、一人で落ち込まないようにしたいと思いました。そして、周りに元気がない人がいたら、優しく声をかけてあげたいと思いました。
(3年 松田さん)

フェンシングで県大会優勝 全国大会での活躍期待

11月3日(月)にフェンシングのJOC杯山形県予選会が行われ、カデの部・男子フルーレで、本校2年生の真木さんが、みごと優勝しました。

この大会の出場者はほとんどが高校生で、高校生を相手に優勝したことはとても素晴らしいことだと思います。

真木さんは、山形県の代表として、1月9日(金)から東京駒沢オリンピック記念公園で行われる全国大会に出場する予定です。全国の舞台でも頑張ってください。真木さん、頑張れ~!!

